※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	(学) レクリエーション２	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・レクリエーション活動が、円滑な人間関係を作るために、非常に役に立つことを経験する。
　また、心身の健康を保持増進するためにも、役立つことを実践を通して経験する。
・生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図る。

2　学習の到達目標

・レクリエーションの必要性を意識し、仲間と協力して運動に取り組もうとする。（知）
・集団や個人それぞれにおけるコミュニケーションの取り方、集団におけるコミュニケーションの促進方法を習得する。（思）
・レクリエーションを企画・実践するために必要な知識・技術を習得し、将来家庭、職場、地域等においてレクリエーションを実践できる態度を身に付ける。（主）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 レクリエーションの特性や学習の狙いを理解し、各種活動の運営方法や自分の役割を知っている。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続し、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を実生活に生かせることができるよう自ら応用・発展させることができる。	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	各種導入・各種レクリエーション	オリエンテーション アイスブレーク 体つくり運動 チャレンジ･ザ･ゲーム ボールゲーム 指導案作成	a:レクリエーションの意義や生涯学習としてのあり方、場面に応じたレクリエーションの活用方法について理解している。また、グループ内での自分の役割を理解し、行動することができる。 b:個人的技能を高めるとともに、グループの中で集団的技能を身に付けることができる。 c:仲間と協力し合い、よりよい活動となるよう心がけている。健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	レポート 技能観察	レポート ノート	受講態度 行動の観察
2学期	各種ニュースポーツ	ソフトバレーボール インディアカ キンボール グラウンドゴルフ ターゲットバードゴルフ ペタンク ボッチャ モルック 模擬授業	a:レクリエーションの意義や生涯学習としてのあり方、場面に応じたレクリエーションの活用方法について理解している。また、グループ内での自分の役割を理解し、行動することができる。 b:個人的技能を高めるとともに、グループの中で集団的技能を身に付けることができる。 c:仲間と協力し合い、よりよい活動となるよう心がけている。健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	レポート 技能観察 模擬授業 実技テスト	レポート ノート	受講態度 行動の観察
3学期	模擬授業	指導案作成 模擬授業	a:レクリエーションの特性や課題解決方法、目的やねらいを持って、単元の計画・実践を行える b 課題に応じて、練習方法を工夫することや、教える側としての意識を持ってゲームを楽しむことができる。 c 仲間と協力し合い、よりよい活動となるよう心がけている。健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	レポート 技能観察 模擬授業	レポート ノート	受講態度 行動の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度